

「令和2年度に実施した仕事」の振返りシート（A：裁量有）

記入日 令和 3 年 4 月 14 日

事業名称		新型コロナウイルス感染症対策費 [庁舎内新型コロナウイルス感染症対策事務]										
予算科目	款	2	総務費	項	1	総務管理費	目	1	一般管理費	事業番号	18	
予算科目	款	2	総務費	項	1	総務管理費	目	6	一般管理費	事業番号	6	
事業の種類別		☐ 市単独 ☒ 補助対象 ☒ 市が実施することが法律等で義務付けられているもの(市の上乗せあり)										
担当部署・課長名		総務管財		課		庶務		係		課長名	宮田 智雄	
この仕事は、どの【施策】の課題を解決するための手段ですか。								施策番号		行 - 2		
【施策名】 効率的でスリムな行財政運営の実現								総合計画書 (ページ)		122		
1 この仕事の目的	① 誰(何)を対象にしていますか。					① ①の対象数や量を、あらわすもの(対象指標)						
	①市民及び来庁者 ②市役所職員					①市民及び来庁者の人数 ②職員の人数						
	② ①をどのような状態にしたいのですか。[簡潔に]					② ②の状態になった数・量をあらわすもの(成果指標)						
	感染症が蔓延しない、衛生的で安全な庁舎					市民、来庁者及び職員からの要望苦情						
2 指標の推移	対象指標		①の数値	人	なし	なし	令和2年度実績		令和3年度目標		令和4年度目標	
	成果指標		②の数値	件	なし	なし	9					
	目 標		②の目標値		なし	なし	0					
	活動指標		③の数値	件	なし	なし	6					
3 経費	事業費(実績)		円	0	0	18,359,987		※人件費の所要人数は、基本的には「人」で表わしますが、一時的な仕事については時間数での表示も可とします。その場合単位を「時間」に変更してください。 人件費(再任用職員以外)年間単価は、8,380,000円 時間単価は、4,300円で計算してください。 【算出根拠】平成31年度決算数値。(退職手当組合負担金、共済費も含む。)				
	一般財源		円			1,863,987						
	特定財源(国・都・他)		円			16,496,000						
	(うち受益者負担)		円			0						
	所要人数(再任用以外)		人			1.0						
	所要人数(再任用)		人			0.0						
	職員人件費(再任用以外)		円			8,380,000						
	職員人件費(再任用)		円			0						
事業費+人件費		円	0	0	26,739,987							
4 環境変化等	(1) 開始年度		2 年度									
	(2) 環境の変化 ・平成31年度末、国内で新型コロナウイルス感染症の発生が初めて確認され、4月には2か月にわたり緊急事態宣言が発令される等、新しい生活様式が提言され、過去に例を見ない感染症対策を実施することとなった。 ・令和2年度当初は、感染症対策用品が枯渇し、価格の高騰及び発注から納品まで時間を要し、環境整備が困難であったが、7月ごろから感染症対策用品の流通が回復し、市民及び職員からの要望に応え、感染症対策が実施できた。											

事業名称	新型コロナウイルス感染症対策費 [庁舎内新型コロナウイルス感染症対策事務]				
担当部署・課長名	総務管財	課	庶務	係	課長名 宮田 智雄

5 市民等の意見	この仕事に関して、令和2年度中に寄せられた市民・議会等の意見、また、市民・サービス利用者等の実態やその意識について				
	特になし				
6 市民協働	(1)この仕事の実施にあたり、市民協働に取り組みましたか。取り組んだ場合、取組手法欄の種類から番号を選択し、取組手法欄に番号を記載してください。（複数回答可）				
	☐ 取り組んだ ☒ 取り組まない	取組手法：			
		【取組手法の種類】 ①共催 ②実行委員会・協議会 ③事業協力 ④事業委託 ⑤補助・助成 ⑥情報提供・情報交換（広報媒体： ） ⑦後援・場の提供 ⑧その他（ ）			
	(2)令和3年度に向け、さらに適した協働の形態とするために「考え」「気付いた」点				
特になし					
7 課題	(1)令和2年度に課題とした内容（「平成31年度に実施した仕事」の振り返りシート 7課題（3）を転記）				
	該当なし				
	(2)(1)の課題解決に向けた取組や、事務改善など、令和2年度に実施したこと。				
	・年度当初は、コロナ対策用品（アルコール消毒液、マスク等）の流通が止まり、品薄となる中での庁内の衛生・安全面に向けた環境整備に取り組んだ。 ・7月ごろから、コロナ対策用品の流通が回復し、本庁舎、会議棟及び現業棟に必要な数の用品を設置するとともに、換気の励行を習慣化した。				
	(3)(2)を踏まえた今後の課題（仕事の最適化・合理化の提案）				
・令和2年度は消耗品費のみであり、一時的な感染症対策はできたものの、継続して使用できる備品の購入や衛生面を充実させる工事を実施することができなかったため、来年度以降、継続した感染症対策を実施していくことが課題である。					
8	施策貢献状況（この仕事は、総合計画（基本計画）に掲げる課題の解決手段になっているか。）				
施策名： 効率的でスリムな行財政運営の実現 ☒ なっている ☐ 環境の変化等により成果が減少している ☐ 類似の事業が他にあり改善の余地がある 事業名（ ）					
9 今後の方向性	(1)仕事の方向性（「7 課題（3）」の課題及び「8 施策貢献状況」を踏まえた具体的な改革・改善案など）				
	☒ 拡大 ☐ 現状維持 ☐ 縮小 ☐ 休止 ☐ 廃止 【取組内容】 ・令和2年度は消耗品費のみであったが、令和3年度は備品購入費が付随される。そのため、抗菌仕様等感染症対策備品の購入を実施し、感染症対策を拡大させる予定である。				
	(2)上記(1)の取組にあたり、克服すべき問題点、必要な調整・準備等				